

5 実践編

5 - 1 町会で対策する

町会で「なんとか対策せねば」と
思っているならば

なにはさておき

保健所に相談しましょう（大田区の場合）

事前にアポイントメントを取り
町会役員複数で保健所に行きます

保健所の話聞いたあとは
作戦会議！

事前準備がなにより大切

役員、有力者、行政、推進員等で綿密に相談

動物愛護推進員等の
ボランティア

行政担当
(保健所・市町村など)

町会の
環境部長

地域の顔役など

町会長・班長など

まずは役員等限定で「ノラ猫対策」を勉強する
そして、地域住民に話をする前に、作戦会議をする

作戦① 地域みんなで話し合う

話し合いには、以下の人たちに来ていただく

ボランティア
(推進員等)

行政担当

地域の
皆さん



① エサやり者

→来たがらない恐れがあるが
「絶対に責めないから」と説得

② 被害者

→「被害を減らすための話し合い
です」と説得

③ どっちでもない人

→猫に利害のない人に
少しでも多く出席してもらうのが
成功のポイント

保健所担当とボランティアの同席が重要

住民だけだと、言い争いになってしまう恐れがあります

『話し合い 3つのルール』は死守！

- ①『誰のせいかな』という犯人捜しの議論をしない
→誰かのせいにして解決するなら、誰も苦労しません
- ②『エサやり者が解決すべき』という安易な結論にしない
→エサやり者が解決できるならば、とっくに解決しています
- ③『行政や愛護ボランティアがやればよい』を結論にしない
→地域のトラブルです。地域でなんとかするのが基本です。
行政やボランティアはサポート役です。

『誰かにやらせよう』という発想は捨ててください

みなさんお困りです。
とにかく早く対策しないといけません。
犯人捜しをしている時間はありません。
具体的な対策を相談しましょう。



「あんたが解決しろ！」は無意味です



『誰のせいかな』という犯人捜しの議論は、解決につながらない

★ エサやり者が解決できるなら、とっくに解決している

→エサやり者が解決できなかったからこそ、この事態になった

解決できないことが分かっている相手に
改めて「解決しろ！」などと言っても、無意味・無駄

話し合いで決めること



① ノラ猫の状況をリサーチしよう！

(実態把握しないと、対策できません)

ノラ猫の数、エサ場、トイレ場 (被害場所)

→エサやり者や被害者から話を聞きます

→最終的には、地図に落とし込みましょう

② 有志による実働部隊の編成

(エサやり者にも何か関わってもらいます)

捕獲作業、病院への搬送 (車の運転)

広報チラシ作成、猫トイレ作成

エサやりマナーの啓発 など

③ 手術費用をどうするか

保健所の補助、カンパ、町会費など

※ 町会費を使う場合は、反対の声が出る恐れがあるので、慎重に考える。
町会の名前でカンパ袋を回せば、自主的な寄付なので揉めることはない。

作戦② 地域で勉強会をする

「話し合いをしたら揉めそうな気がする」という場合に有効
開催のタイミングは、地域の話し合い（作戦①）の前！

外部講師を呼んで、地域で「ノラ猫対策勉強会」をすると
地域の皆で共通認識を持つことができます



エサやり者と被害者に参加してもらうのは当然のことながら、
どちらでもない人にたくさん参加してもらうことがポイント

最も重要なのは地域広報（周知徹底）

地域住民に活動趣旨を知らせないと、必ず失敗する

① 近隣配布用のチラシを作成

開始時チラシの記載内容

- ・ノラ猫対策を開始します！
- ・去勢不妊手術を行う
- ・手術によって数が減る
- ・首輪や迷子札がない猫はノラ猫と判断せざるを得ず手術対象とする
- ・「放置エサ」は厳禁



チラシのサンプル

〇〇〇町会 △△地区 XXXX年XX月XX日

飼い主のいない猫対策を始めます

近隣で、飼い主のいない猫（ノラ猫）が増えています
これ以上の繁殖をストップするため、去勢不妊手術を進めます

捕獲し、去勢不妊手術をし、元の場所に戻します（「TNR」といいます）

TNRとは
捕獲して Trap 不妊手術をし Neuter 元の場所に戻す Return
©公益財団法人どうぶつ基金

手術済の猫は耳先をV字にカットします
耳先カットの猫はもう繁殖しません

効果的に対策を進めていくために、付近の猫の情報を求めています
猫情報をご存知の方、ぜひ下記までご連絡ください（個人情報はお守りします）

対策の効果

ノラ猫は、過酷な環境で生きているため、多くが4～5年の寿命です。
このため、地域の全頭に手術をすれば、着実に頭数が減っていきます。
また、発情期の泣き声が無くなり、ケンカや強烈な尿の臭気も減少します。

飼い猫には首輪（名札付き）の装着を

「飼い主の連絡先の付いた首輪をつけていない」猫や、「耳先カットが無い」猫は、未手術のノラ猫と区別がつかず、手術対象とせざるを得ません。
放置飼いや、手術済のノラ猫の情報をお持ちの方は、ご連絡ください。
※ 外に出ている猫は、室内飼育の猫と比べ、圧倒的に短命です。猫は室内飼育をお勧めします。

これ以上猫を集めないエサやりの方法

① 迷惑にならない場所で、② 毎日同じ時間に、③ 多すぎない量のエサを、
④ 小皿で、頭数分に小分けして与え、⑤ 猫の食後はすぐに片付けて清掃します。
※ エサを置いたまま放置すると、臭いにつられて周辺地域から未手術猫が集まってしまい、対策が無駄になりますので、止めましょう。

お手伝いしていただける方

地域の皆さまのご協力によって、よりスピーディーに、より効果的に、対策が進みます。どのような些細なことでも構いません。ぜひ、下記までご連絡ください。
例：捕獲した猫の病院への搬送、チラシなど発行物の印刷、捕獲手伝い など

※ このような活動を「地域猫活動」といい、XX市行政も推奨しています（別紙をご参照ください）。
※ 行政ではノラ猫の駆除はしていません。また、安易な引き取りも行っていないです。
※ 手術では、1頭あたりオスXXXX円、メスXXXX円の費用がかかります。
対策を確実に進めていくため、可能な範囲でご寄付をいただくと、大変ありがたく存じます。
現金：下記までご連絡ください（領収書をお渡します）。
振込：XX銀行〇〇〇支店 普通口座XXXXXX 〇〇〇チヨウカイ ネコタイサク マルヤママルコ

〇〇〇町会 △△地区 猫対策班 〇山 090-XXXX-XXXX

② チラシを持参し、コアなエリアを戸別訪問

戸別訪問は、ノラ猫対策の肝。成否を分ける。

まずは、猫で困っていると思われる家を、順に訪問する

周知チラシを持参して

ペットボトルが並んでいる家（被害者）を片っ端から訪問

※ 保健所のパンフレットも一緒に持っていく



2人組がベスト

トークのテクニックは不要
とにかく誠意誠実で

ノラ猫が増えていて、ちょっとマズイので、
町会として、去勢不妊手術を進めます。

フン被害、ありますでしょうか？

あと、エサやりしている人に
マナーを守るようお願いしたいのですが、
誰がエサやりしているか、ご存知ではないですか？

活動趣旨の周知&情報収集！

被害者に「おおっ、対策が始まった！助かった！」
と思ってもらえたら、活動は6割方成功（被害者を味方につける）

つぎに、エサを与えていると思われる家を、順に訪問

★ 被害者から教えてもらったエサやりさんの家（結構、教えてくれる）

★ エサ皿や水皿が置いてある家



※ 周知チラシを持参。あれば、行政のチラシも一緒に持っていく。

2人組が
ベスト



絶対に
エサやり者を責めない
責めると、猫情報を得られない

エサやり、ありがとうございます！（※注）

猫ちゃんが増えてしまっているので、
町会として、去勢不妊手術をすることになりました。
猫ちゃんの情報、教えていただけますでしょうか。

活動趣旨の周知&情報収集！

※注「えさやり、ありがとうございます」と言う

「エサやり、していますか？」と質問するのはNG

→ → → 質問すると「エサやりは、していません」という答えが返ってくる

たいていの方は、エサやりがバレると怒られると思っているので、
質問形式だと、本当のことを言ってくれない

エサやり者と仲良くなれたら その時点で9割方成功

最後に、被害者かどうか分からない家をひとつひとつ訪問

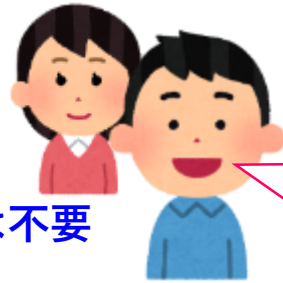
★ ペットボトルやトゲトゲは置いていない

★ エサ皿や水皿もない

= 立場が分からない → → → 被害者かもしれないと思って会話する

※ 周知チラシを持参。あれば、行政のチラシも一緒に持っていく。

2人組がベスト



トークのテクニックは不要
とにかく誠意誠実で

猫でお困りではないですか？

町会で、これ以上ノラ猫が増えないように
去勢不妊手術をしていくことになりました。

何か猫の情報があったらお教えてください。

活動趣旨の周知&情報収集！

コアなエリアの戸別訪問が活動の成否を分ける

戸別訪問をせず、すべてポスティングや回覧だけで済ませてしまうと

- 重要情報が入りにくい（チラシだけだと連絡をくれる人が少ない）
- 住民に趣旨が理解されず、協力体制が地域全体に広がらない

顔と顔が見える関係の中で、対策の趣旨を理解してもらうことがコツ